北海道中札内村における第２期基本計画の概要

計画のポイント

中札内村は農業が基幹産業である。小麦等の畑作物を主体に、枝豆や長芋等の野菜を組み合わせた大規模な畑作経営や畜産経営が行われており、特に枝豆は道内有数の作付面積を誇り、村内畑作経営体の7割以上が生産をしている。令和3年度の農業産出額は127億円であり、北海道内全15村の中で第1位（北海道内全体では第29位）となっている。また、食料品製造業は村全体の製造品出荷額の84.7%、従業員数の80.8%を占めており、枝豆等の良質な農産物を活用した付加価値の高い製品を製造している。このほか、「日本で最も美しい村」連合の加盟村としての魅力発信や、年間60万人以上が訪れる道の駅を中心とした観光振興、食と交流をテーマにしたまちなかキッチンスタジオの建設、ふるさと納税クラウドファンディングによる起業促進など、産業振興にも取り組んでいる。

以上の地域特性を生かし、企業の稼ぐ力を高めることで付加価値を向上させ、収益の増加・雇用の増加といった経済の好循環を創出することを目指す。

促進区域

北海道中札内村

経済的効果の目標

・１件あたり平均47百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出。
・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.4倍の波及効果を与え、促進区域で**約263百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～④のいずれか）】

①中札内村の枝豆等の農産物を活用した**農林水産関連分野**

②中札内村の枝豆等の農産物を活用した**食料品製造関連分野**

③中札内村の「日本で最も美しい村」連合に認められた豊かな自然景観等の観光資源を活用した**観光・まちづくり関連分野**

④中札内村の枝豆等の農産物を活用した**観光・まちづくり関連分野**

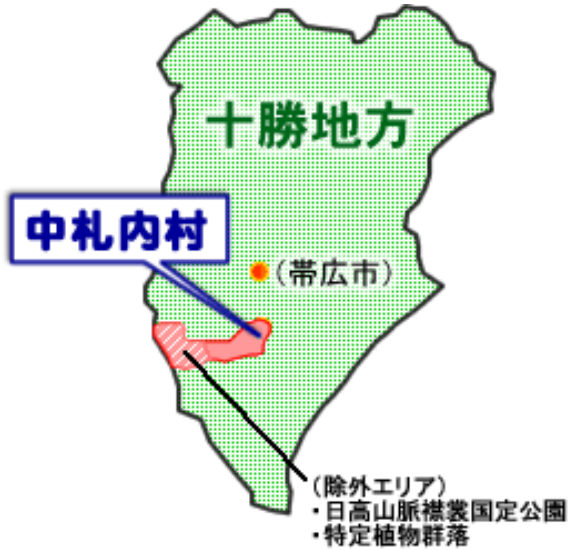
【要件２：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：4,611万円超

【要件３：いずれかの経済的効果が見込まれること】

①売上：18%以上増加
②雇用者数：1人以上増加

《促進区域図》



制度・事業環境の整備

・不動産取得税・固定資産税の減免措置
・中札内村企業立地促進条例による支援
・研究機関や支援機関が有する分析・解析結果、技術情報の提供
・村が有する観光客データの公開
・事業者からの事業環境整備の提案への対応
・スタートアップへの支援と賃上げ促進
・ＤＸとＧＸの促進による支援

地域経済牽引支援機関

・国立大学法人 北海道国立大学機構 帯広畜産大学
・公益財団法人 とかち財団

計画期間

本計画の計画期間は計画同意の日から令和１０年度末日までとする。